

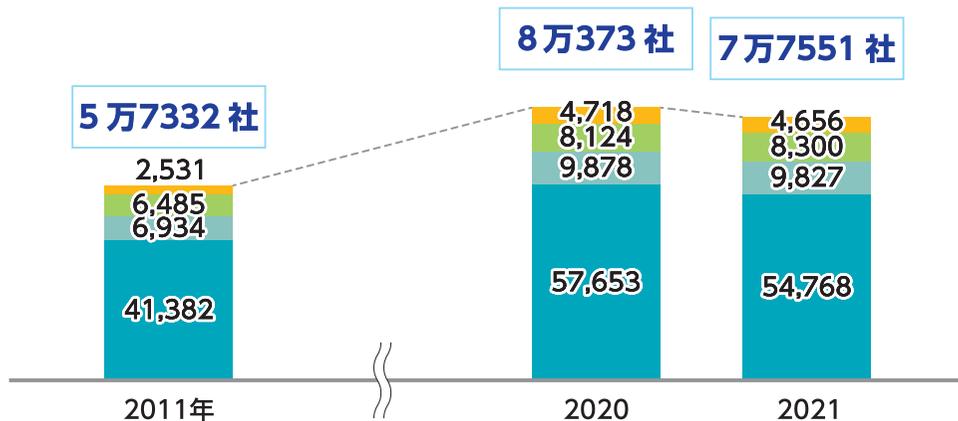
経営のグローバル化

日外協の設立は1974年、日本企業の海外進出が本格化した時期だ。以来、約半世紀が経過。日本企業の海外展開は、本国からの輸出、海外への生産移転、さらにはM&Aを含むグローバルネットワークの構築へと多様化した。

米中対立、ウクライナ戦争、コロナ禍、原材料費高騰などにより、日本企業は調達先の見直し、事業計画の変更・撤退など、数々の難題に直面している。

企業を取り巻く環境の変化は激しい。対応のスピードがより一層求められる中、日本企業は経営のグローバル化を今後どう進めていけばよいか。

海外進出企業数推移
2021年は減少



出所：外務省「海外進出日系企業拠点数調査」

特集では、まず日外協が実施した第12回「経営のグローバル化に関するアンケート」の調査結果を報告する。

次に、早稲田大学トランスナショナルHRM研究所 大滝令嗣所長に日本企業のグローバル経営を巡る課題について話を聞いた。

最後に、グローバル化を積極的に進めている会員企業の事例とともに、日本企業の進出の歴史が長い東南アジアの変化について、現地専門家による評価と分析を紹介する。